

シルバー人材センター



シンボルマーク

ニュース ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原 3丁目1番1号

電話番号 (098) 929-1361

http://www.okinawasisi.com

6月末現在の会員数534人
(男性356人・女性178人)

令和5年度定時総会開催 4年連続の代理人による議決権行使



公益社団法人沖縄市シルバー人材センターの令和5年度定時総会が6月16日、シルバーワークプラザ2階大会議室で開催され、令和4年度の事業報告・収支決算や定款の一部変更など審議、原案どおりそれぞれ承認された。総会開催は、コロナ感染症の5類移行後も引き続き感染対策を図るため、今年度も会場の収容に合わせて参加人数を制限して規模縮小。今回も理事や地区長、班長らの出席にとどめ、会員からの委任状に基づいて4年連続して、代理人による議決権行使の定時総会となった。

報告	議案第1号	議案第1号
	議案第2号	議案第2号
	議案第3号	議案第3号
	議案第4号	議案第4号
報告	令和5年度事業計画及び収支予算	令和4年度事業報告
		令和4年度収支決算報告
	理事長に対する権限委任	定款の一部変更



上江洲就業相談員が司会進行



監査報告をする安次富正文監事



(右から) 議事進行は浜比嘉副理事長、議案を説明する仲宗根事務局長

定時総会は同日午後1時30分に開会。就業相談員の上江洲勝さんの司会で進行した。最初に、上原秀雄理事長が挨拶（2面に全文掲載）。続いて、祝辞として桑江朝千夫沖縄市長、瑞慶山良一郎沖縄市議会議長、翁長聡沖縄県シルバー人材センター連合会長の三氏からメッセージが寄せられ、仲宗根正史事務局長が代読した。

議事進行の議長には、浜比嘉宗明副理事長を選出。会員総数527人中、361人（出席者22人、委任状339人）の過半数で総会成立を宣言。議案第1号から第4号まで審議、すべて原案通り承認された。報告事項として、令和5年度事業計画及び収支予算について、5月23日開催の第2回理事会において、承認された旨の報告があった。

定時総会理事長あいさつ(全文)



令和5年度定時総会を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、お忙しい中を定時総会へご出席をいただき、誠にありがとうございます。

本来でしたら、多くの会員の皆様のご出席をはじめ、ご来賓をお招きして、定時総会の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染者も一時に比べやや落ち着いてきているものの、ウイルス自体の毒性は弱くなったとはいえ、まだ感染力は強いといわれております。私もシルバーの会員全てが高年齢者であることを踏まえ、今年度も必要最小限の人数での開催になりましたことをご了承頂きたいと思っております。

会員の皆様においては、引き続き「就業活動」や「日常生活」等において、出来るだけ感染予防対策を十分に意識した行動をお願いしていきたいと思っております。

昨年度は、当センター事業の「イメージアップ」と「魅力ある仕事の開拓」「会員の拡大」について、地区会員や役職員の皆様と十分協議しながら、一丸となって事業計画を実行してまいりました。

令和4年度の主な事業実績は、「会員数」528人(8人の増)対前年度比101%、「契約金額」約2億6千7百万円対前年度比96%、「就業延人員」40,312人日

対前年度比97%となっています。

特に「魅力ある仕事の開拓」については、新たに保育補助分野やデジタル分野、派遣による就業機会の拡大に取り組んでまいりました。また新規入会者について、微増ではありますが約10年ぶりに会員が増加となっております。

今年度も引き続き会員の拡大については積極的に取り組むと共に、退会者の抑制にも取り組んでいくことが重要になってまいります。ご承知のとおり、今年に入り一層世界的に不安定な変動期を迎えており、物価の高騰など高齢者を取り巻く社会情勢も大きく変化してまいりました。

少子高齢化が急速に進む中、定年年齢の引き上げや継続雇用など国の施策は、センターにとって新たな課題として、人手不足・労働力不足を補うための高齢者の就労促進など、高齢者の働き方について重要な課題を投げかけられています。

次に、センター事業において最も重要課題である「安全・適正就業」についてですが、「安全・適正就業委員会」「安全推進員」等による巡回パトロール強化や会員間による声掛けを推奨し、安全に対する意識の高揚を図ってまいりましたが、令和4年度の事故発生件数は5件と、前年度に比べて1件の増加となっております。

特に、安全で適正な就業については、今後とも会員及び役職員が一体となり、「事故の未然防止」「発生事故の検証と今後の対策」「会員への情報提供」など事故の撲滅に取り

組んでまいります。会員の皆様、お一人お一人の自覚によるものが大きな力になるものと考えております。

これからも地域社会のニーズを先取りし、会員の技術・能力を高め、仕事を通じて地域社会の発展に貢献していくことがセンターの担うべき重要な使命であり、これがとりもなおさず会員の皆様の生涯現役・健康寿命アップにつながることを祈ります。

最初に述べましたとおり、感染症の終息はまだまだ不透明で市民の生活に長期的な不安と様々な影響が出ている状況ではありますが、当センターでは会員の「安全・安心」を第一に、「請負・委任」による就業、「労働者派遣事業」による就業に取り組み、時代のニーズに対応したシルバーの就業の場の提供・拡大に取り組んでまいります。

今後とも、高齢者が長年にわたって培ってこられた知識や経験、技能を活かし働くことを通じて「生き生きと活動する社会」の実現を目指して、役職員一丸となって事業の推進に努め、「就業活動」をはじめ、「ボランティア活動」や活力ある地域社会の構築に寄与してまいります。所存でありますので、会員の皆様、役職員の皆様方のお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

令和5年6月16日

理事長 上原 秀雄

第3回理事会はみなし決議

理事会開催はなく、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条」及び「定款第38条」の規定により、理事全員が書面でもって同意の意思表示をしたため、理事会決議を省略し、みなし決議となった。

議案第1号「正会員の入会」については、6人が承認されその結果、6月27日現在の会員数は534人（女性178人・男性356人）となった。なお、5月の退会者は2人。

議案第2号「令和5年度安全・適正就業推進強化月間実施要綱」（4面掲載）も原案通り承認された。

就業延人員 配分金 契約金額は増

ー 5月実績 ー

令和5年5月の主な実績では、会員数527人で4人の微減（0%）、就業実人員319人で2人の微減（0%）、就業延人員3025人で317人の増（10%）、配分金約1740万円で約288万円の増（16%）、契約金額約2159万円で約349万円の増（16%）となった。（対前年比同月比）

全国統一スローガン

「安全は無理せず
焦らず 油断せず」

令和5年度～令和7年度

7月の強化月間に向けて 第2回安全・適正就業委員会

令和5年度第2回安全・適正就業委員会（小橋川啓委員長）が6月13日、シルバーワークプラザ執務室で開催された。協議事項として、令和5年度「安全・適正就業推進強化月間」の取り組みをはじめ、安全・適正就業推進大会や安全・適正就業推進計画への追加項目等について話し合わせ、安全・適正就業推進大会の開催等については実施要綱案に基づいて行うことが確認された。その他、報告事項について仲里副委員長から令和4年度拠点センターの事故実績報告の後、全国統一スローガン（令和5年度～令和7年度）や「エイジフレンドリーガイドライン」についての報告があった。（4面に実施要綱）



（右から）仲里栄信副委員長、小橋川啓委員長、瀬名波奈緒美担当事務局員、高吉満弘委員

エイジフレンドリーガイドライン：厚労省が令和2年3月に公表したもので、高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン。エイジフレンドリーは「高齢者の特性を考慮した」を意味する。

女性就労現場で相次ぐ転倒事故 連合と合同安全パトロール実施

連合との合同安全・適正就業パトロールが5月19日、女性会員8名からなる清掃グループ（松田キヨコリーダー）が就労する沖縄こどもの園園内で実施された。



同園で4月に2件の転倒事故があったことを受けて実施するもので、それに先立ち、上原秀雄理事長や浜比嘉宗明副理事長らによる巡回訪問も行われた。連合の我那覇宗孝指導員は「園内には建造物が多く起伏もある中での清掃は、転倒のリスクが高まる。常に細心の注意が必要」と話した。

目的

シルバー人材センター事業を推進する上で、会員の健康管理と安全で適正な就業の確保は最重要課題である。令和4年度においては、就業現場の巡回パトロールや会員間による声掛けを行うなど安全意識の共有と各就業現場における事故防止対策を強化してきたが、残念ながら5件の事故が発生している。また、新型コロナウイルス感染症も依然と終息の兆しが見られない中、会員及び役職員が一体となり、より一層、事故防止対策、感染防止対策に取り組みなければならぬ。よって、7月の「安全・適正就業推進強化月間」においては、安全・適正就業の徹底強化を図り、事故のない安全な就業環境づくりを推進すべく次のとおり取り組む。

1 「安全・適正就業推進強化月間」の取組み

(1) 期間 令和5年7月1日(土)～31日(月)

(2) 取組内容

① 「安全・適正就業推進大会」の開催

・日時 令和5年7月12日(水) 午後1時30分

・場所 シルバーワークプラザ 2F 大会議室

② 横断幕やのぼり等の掲揚

③ 県シルバー連合主催の「安全大会」等への参加

④ その他、安全管理教育等の開催

2 安全就業スローガン

令和5年度～令和7年度シルバー人材センター全国統一スローガン 『安全は、無理せず 焦らず 油断せず』

3 安全・適正就業への取組み

安全・適正就業の取組みについては「安全掲示板」「ホームページ」「ニュース ゆんたく」等を活用した情報の提供を行うとともに、会員自身の健康管理と事故防止対策の意識高揚を図るための取組みを行う。

(1) 安全就業

ア 就業前のラジオ体操と作業ミーティングを徹底し、会員の健康状態を把握

7月

令和5年度「安全・適正就業 推進強化月間」実施要綱

イ 単独就業は正の徹底

ウ 危険予知活動(KYM)と安全保護具(安全帽、命綱等)使用の徹底

エ 刈払機の適正使用と防護ネット設置の徹底(小石等飛散防止) 才 脚立の適正使用及び就業現場の整理・整頓(落下・転倒の防止) 力 法面(斜面)における安全就業の推進

キ 就業現場巡回による安全措置及び感染防止措置(マスク着用等) の点検・確認と就業会員の体調(発熱等)確認の徹底

ク 「作業中」表示板等による第三者への注意喚起の徹底 ケ タイヤ止め使用の徹底と「高齢運転者等に係るガイドライン」の活用

コ 事故原因の分析と防止策の推進

サ 「安全就業ガイドブック」「安全・適正就業マニュアル」等の配布と活用

シ 熱中症予防・対策の徹底と注意喚起、情報等の提供 ス 「安全就業基準不履行等会員に対する措置」の推進

(2) 適正就業

ア 「適正就業ガイドライン」を活用した、適正な就業の徹底 イ 臨時的・短期的・軽易な就業の徹底

ウ 発注者からの「指揮命令」や「混在就業」等の排除 エ 「受注票」「契約書」「請書」等における不適正な記載の確認 及び就業実態の自主点検

4 新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 会員への感染予防措置等の周知
ア 手洗い、うがい、アルコール消毒、マスク着用及び外出自粛等の奨励

イ 風邪症状や発熱(37度以上)時の就業自粛
ウ 「新しい生活様式」の周知・推進

(2) 就業機会の確保・提供に係る感染防止対策

ア 新規受注時の感染予防対策・感染リスクの確認の徹底
イ 就業中の感染防止対策(マスク着用、3密回避等)の徹底
ウ 感染症の拡大状況に応じて就業の延期、中止等を検討